



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部副本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠

TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	99,944	0.3	327	15.0	427	10.6	294	21.2
29年3月期第3四半期	100,264	4.5	385	12.3	478	8.5	373	32.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 512百万円 ( 17.7%) 29年3月期第3四半期 623百万円 ( 4.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	21.47	
29年3月期第3四半期	27.23	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	29,177	6,790	23.3
29年3月期	20,311	6,345	31.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,790百万円 29年3月期 6,345百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	1.3	420	14.7	580	4.4	470	4.5	34.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	13,774,819 株	29年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	49,870 株	29年3月期	49,491 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	13,725,153 株	29年3月期3Q	13,725,390 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 211「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外政治の先行きに不透明感があるものの、海外景気の緩やかな回復を背景に輸出は持ち直しが続いており、雇用環境や企業収益も改善傾向となるなど緩やかな回復基調となりました。

当水産流通業界におきましては、天候不順などの影響もあり漁獲量が減少したほか、水産物の国際的な需要増加により仕入価格が上昇していることに加え、消費者の節約志向は根強く、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が999億44百万円（前年同期比3億19百万円減）となり、利益面では営業利益3億27百万円（前年同期比57百万円減）、経常利益4億27百万円（前年同期比50百万円減）となりました。また、税金費用1億20百万円を計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益は2億94百万円（前年同期比79百万円減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、売上高については国外への販売が順調に推移した一方、天候不順の影響などによる不安定な漁獲状況や消費者の低価格・節約志向の影響を受け、国内での販売が伸び悩んだこと等により998億4百万円（前年同期比3億22百万円減）となり、利益面では販売費が増加したこと等により営業利益は4億61百万円（前年同期比42百万円減）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高については1億90百万円（前年同期比1百万円増）となりましたが、利益面では原価の増加等により営業利益は3百万円（前年同期比3百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて88億65百万円増加し、291億77百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が68億23百万円、商品及び製品が21億60百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて84億21百万円増加し、223億86百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が56億81百万円、短期借入金が25億99百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べて4億44百万円増加し、67億90百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を2億94百万円計上するとともに、その他有価証券評価差額金が2億28百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、平成29年5月12日付の「平成29年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,295	1,967
受取手形及び売掛金	8,720	15,543
商品及び製品	2,673	4,833
短期貸付金	300	300
未収消費税等	31	82
繰延税金資産	87	66
その他	216	285
貸倒引当金	△26	△47
流動資産合計	14,297	23,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	819	767
土地	2,192	2,180
その他(純額)	110	96
有形固定資産合計	3,123	3,045
無形固定資産	336	213
投資その他の資産		
投資有価証券	2,432	2,760
長期貸付金	280	280
破産更生債権等	660	677
固定化営業債権	840	832
繰延税金資産	7	7
その他	88	86
貸倒引当金	△1,756	△1,760
投資その他の資産合計	2,553	2,886
固定資産合計	6,013	6,145
資産合計	20,311	29,177

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,858	12,540
短期借入金	2,200	4,800
1年内返済予定の長期借入金	168	166
未払金	439	721
未払法人税等	103	33
賞与引当金	152	42
その他	226	309
流動負債合計	10,147	18,612
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	332	249
繰延税金負債	291	417
再評価に係る繰延税金負債	260	255
役員退職慰労引当金	165	184
退職給付に係る負債	1,922	1,786
その他	345	382
固定負債合計	3,817	3,774
負債合計	13,965	22,386
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	2,403	2,636
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,233	5,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	914	1,143
繰延ヘッジ損益	5	△9
土地再評価差額金	238	232
退職給付に係る調整累計額	△46	△41
その他の包括利益累計額合計	1,112	1,323
純資産合計	6,345	6,790
負債純資産合計	20,311	29,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	100,264	99,944
売上原価	94,963	94,650
売上総利益	5,300	5,293
販売費及び一般管理費	4,915	4,966
営業利益	385	327
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	49	49
受取賃貸料	108	108
その他	11	27
営業外収益合計	174	190
営業外費用		
支払利息	18	15
賃貸費用	55	54
その他	8	19
営業外費用合計	81	90
経常利益	478	427
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	9	1
特別損失		
固定資産除却損	4	—
減損損失	7	13
特別損失合計	11	13
税金等調整前四半期純利益	476	415
法人税、住民税及び事業税	72	68
法人税等調整額	30	52
法人税等合計	102	120
四半期純利益	373	294
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	373	294

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	373	294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	228
繰延ヘッジ損益	3	△14
退職給付に係る調整額	△5	4
その他の包括利益合計	249	218
四半期包括利益	623	512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	512
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,127	137	100,264	—	100,264
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	51	51	△51	—
計	100,127	188	100,316	△51	100,264
セグメント利益	504	6	511	△125	385

(注) 1. セグメント利益の調整額△125百万円のうち、△117百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△8百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	99,804	140	99,944	—	99,944
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	50	50	△50	—
計	99,804	190	99,994	△50	99,944
セグメント利益	461	3	464	△136	327

(注) 1. セグメント利益の調整額△136百万円のうち、△126百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△9百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、13百万円の減損損失を計上しております。